

《 人間という生き物は、成功からは学ばない 》

野球に限らず、最近の指導者や教育者などの話を聞くと、ポジティブ・シンキングというのだろうか、成功体験を失敗体験より重視する傾向が強くなっているように思える。「負けよりも、勝つことから得るもののほうが多い」そう公言してはばからない指導者も少なくない。 < 中略 >

負けや失敗を振り返るのは、たしかに気分がいいものではないだろう。気持ちが沈むこともある。「負けよりも、勝つことから得るもののほうが多い」という指導者は、そういうマイナス面を指摘する。でも、だからといって敗因を分析せず、修正もしなければ、同じ失敗を繰り返すことになる。私は思うのだが、人間という生き物は、成功からはあまり学ぼうとしないのではないか。成功したとき、勝ったときはたしかに気分はいいが、それだけに成功した、勝ったという事実酔ってしまい、内容を検討するまでにいたらないのである。 < 後略 >

～元プロ野球選手、プロ野球監督、野球解説者、野球評論家の野村克也氏語録より引用～

3年生になってから始まった科目は、試験範囲が少ない反面、試験の形式や勉強の仕方に慣れておらず、まだまだ消化不良をおこし、これからといったところでしょうか。

その一方、1・2年生から勉強をしていて、受験では中心となる教科の国数英では日頃の予習・復習の不足が如実に現れています。特に英語に関して言えば、最近の入試ではいわゆる難問はなくなり、学校の勉強をしっかりとしていれば大学入学共通テストでは70%以上は得点できます。

ほとんどの人は繰り返したり時間をかけることで知識や技術を身につけていきます。この考え方によれば、人の能力の差というのはもしかしたら努力の差であるかもしれません。

【学習方法の見直し】

朝学習・課題・宿題を提出するときに解答を写しているだけの生徒。それは、学習でもなく勉強でもありません。単なる「作業」です。脳に刺激が加わっていません。

例えば、陸上競技で100mを11秒で走ることのできる人がいつまでも11秒を目標に走っていて記録が伸びるのでしょうか。野球で130kmの速球を自在に打てる人がいつまでも130kmの速球で練習していてもうまくなっていると言えるのでしょうか。

「量水練」という言葉があります。方法を知っているだけで、実際の練習はしていないこと、あるいは理屈では分かっているも実地では何の役にも立たないことを意味します。答を写して理解したような気になっても実際に問題にあたるとうできないことがあったはずです。知っていたつもりの漢字が書けない、公式は知っているのに計算に運用できない、習ったはずの英文なのに変な日本語にしかならない・・・全て練習不足です。

普段から脳に刺激を与える学習方法にきなさい。 学問に王道なし、急がば回れ、少年老い易く学成り難し、人生楽ありや苦もあるさ・・・昔の人の人生訓に間違いはありません。



今後の予定

① 2学期期末考査 実施予定表

日時	1限	2限	3限	4限
12/3 (木)	古典B	授業	授業	授業 (~6限まで)
12/4 (金)	化学・地理 日本史・世界史	現代文探究 数総I・数Ⅲ	英語探究	
12/7 (月)	C英Ⅲ	古典探究・物理・生物	数総Ⅱ・数総Ⅲ	
12/8 (火)	現代文B	英表Ⅱ	政治・経済	LHR

②特別編成授業（特編）始まる

〈注意事項〉

特編授業希望者で1科目でも1・2学期の総合成績が欠点（39点以下）の場合、全ての科目で通常授業を受ける。

〈特編授業の参加条件〉下記①と②両方を満たす者

- ①1・2学期総合成績で40点以上の者
- ②1・2学期の実出席時数の2/3以上の出席状況の者
(出席状況が満たない場合、成績をクリアしても特編参加不可)

③駿台・共通テストプレテスト（会場：新潟産業大学）近づく [12/12（土）・13（日）]

大学入学共通テストの会場となるであろう、新潟産業大学の講義室使用、試験当日とほぼ同じ時間割での実施、英語リスニングではICプレイヤーの使用等、大学入学共通テスト本番を想定した非常に重要なプレテストです。このプレテストについては、11/4に案内済みですが、期末考査後に再度詳細を案内します。当日の交通手段等について家族で話し合っておきましょう。

④総合型選抜・学校推薦型選抜の合格発表

11月末～12月初旬は、総合型選抜・学校推薦型選抜の結果が発表となる時期です。合格したら面接指導や小論文指導等お世話になった方々に、報告・お礼を速やかに伝え、入学手続きを確実に行ってください。嬉しい気持はわかりますが、まだまだこれからが本番の仲間への配慮を忘れずに行動すること。また、不合格だった場合は、すぐに気持ちを切り替えて次に向かうことが大切です。

⑤一般受験出願校を確認

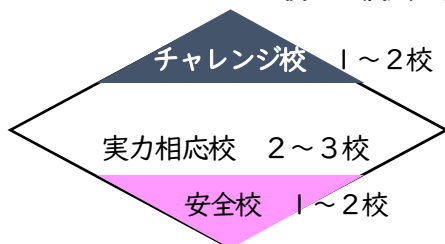
一般受験の出願について、学校名・出願期間・試験日・合格発表日・手続き期間・願書の入手方法等12月中に調べておきましょう。特に、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で一般受験の実施方法も例年と異なることも予想されます。早めの準備が必要と考えます。大学入学共通テスト利用の出願が、大学入学共通テスト前の学校と後の学校がありますので、要注意です。

【受験校決定のポイント】

〈受験校数〉 第1志望合格を目指しこれまで努力を積み重ねてきたことと思いますが、併願校の検討はできていますか？一般入試での受験校数は5校前後という人が多いようです。大学入学共通テスト利用する受験の場合は、これ以上出願する人も多くなっています。

〈併願のメリット〉 第1志望校より先に併願校を受験することで、入試独特の緊張感に慣れておくことができます。1校でも「合格」を手にすることで気持ちに余裕が生まれ、落ち着いて第1志望の入試をむかえることができます。

〈受験校決定には〉 多くの受験生が下記の3つの区分から、受験校を決定しています。自分がこれまでに受験した模試の結果を基に受験校の検討をしていくことになります。



	ベネッセ	河合塾
チャレンジ校	挑戦はC以下	あこがれの大学 どうしても受験したい大学
実力相応校	実力相応はB~C	自分の成績から見て妥当な大学
安全校	模試判定A~B	過去の受験したほとんどの 模試でA判定の大学

⑥今後の予定

- 12月 球技大会
駿台大学入学共通テスト対策模試（プレテスト）
Kパック模試
- 1月 大学入学共通テスト
学年末考査
2次特編/私立大学一般入試開始/国公立大学出願
- 2月 国公立大学前期試験
- 3月 卒業式
国公立大学中期・後期試験

